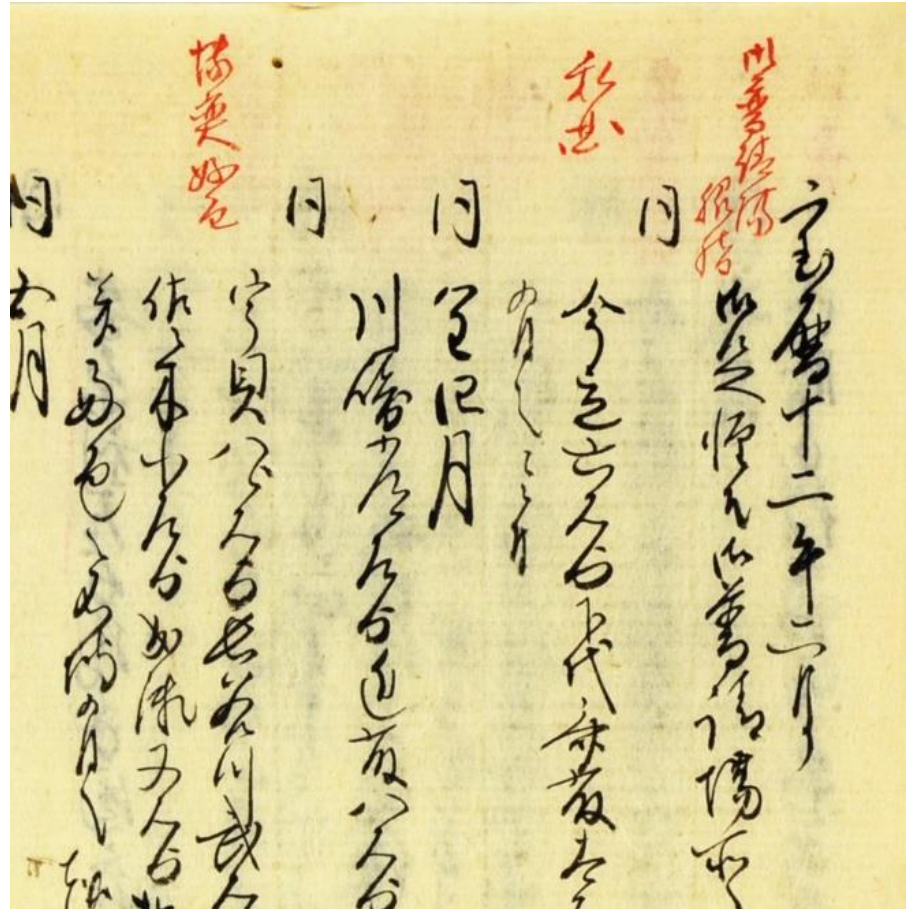


# くずし字初級講座



松平文庫「聞繕目録」(A0143-01134)宝暦12年(1762)

日時:令和5年10月14日(土) 文書館研修室 担当:柳沢

# 本日のテーマ

松平文庫「聞繕目録」(A0143-01134)を読む

1 江戸時代の言い回しや表現に慣れる

もっと

2 読めない部分は、**文脈**を考えて推測する  
関連資料で裏付けをとりながら読む

これ重要!

くずし字の読解は、短期間にたくさんの資料を読むことで早く上達します。

\* ここでのくずし字の事例は、「史的文字データベース連携検索システム」東京大学史料編纂所・国文学研究資料館のデータから引用しています。

■ 翻刻文で読んでみる

どんな資料だったか、第1回を思い出してみてください。

頻出する言い回し

儀二付 儀につき

趣二付 おもむき二付

被仰付 仰せつけられ

指遣、相聞 さしつかわし、あいきき ぎし・あい、接頭語

有之二付 これあるにつき

病中養子

宇都宮恒右衛門、病中養子坂部安之助伯父

幸八願二付

宝暦十辰七月

紛失物

御城内紛失物之儀二付、聞繕

同七月

札所御用筋二付、大坂御蔵屋敷迄組之者指遣、  
聞繕

同八月

富札

御料富札之儀、御城下町人共取次致候趣二付

同

身持不<sub>レ</sub>リ

明石縫殿義、家内引越江戸定府ニ被仰付候処、  
兼而身持不<sub>レ</sub>リ之趣相聞候二付

同

役前

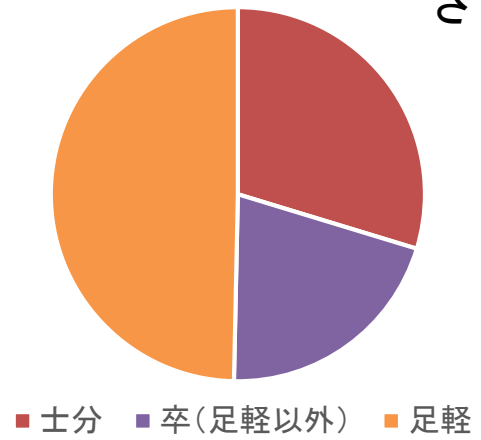
長谷川次郎左衛門、御役筋色々不<sub>レ</sub>リ之評判  
有之二付



・幕末の福井藩では、家臣団(武士)約2700人中、士分は30%、卒は70%で、このうち足軽は1300名余で、全体の50%にもを及んでいました。卒の下には、名字をもたない荒子やその他の者がいました。

・福井藩では足軽(2人扶持以上)は通常、打刀と脇指の二本を指すとされてますが、普請場では、作業のために帯刀しないことが慣例だったようです。

福井藩士の家格別構成



・しかし、一八世紀にはいると、荒子の身なりがよくなり、鉈を指すようになっていたことから、荒子・その他の身分の者が集まる普請場では、身分をはつきりさせるために脇指だけでも指したいという足軽層の要望が出てきていたことが松平文庫の「天災之部・御普請之部・屋敷之部」などからわかります。

参考 舟沢茂樹 『福井藩の卒族について』 『福井県地域史研究』5、1975年

福井藩家臣団の家格別人数 (嘉永5年)

家格	人数
本多家	1
高知席	16
高家	2
寄合席	38
定座番外席	14
番士(役番外)	106
番士(大番など)	495
新番・新番格	81
医師・絵師など	49
士分合計	802
与力	39
小役人	84
一統目見席	87
小算・坊主・下代	347
諸組(足軽)	1,341
卒合計	1,898
家臣団総計	2,700

・荒子・中間等の小者973名を除く。  
 ・舟沢茂樹氏「福井藩家臣団と藩士の昇進」『福井県地域史研究』創刊号 1970年による。

福井県文書館資料叢書『福井藩士履歴』参考資料による。



←うかんむり

月 3 日 月  
川 常 衛 門 近 衛 門

同 ○ ○ 月

川 ○ 常 ○ 衛 門 近 ○ ○ ○ 衛 門

常 子 法 人 右 衛 門 近 衛 門



○ ○ ○ 衛 門 ○ ○ ○

■この一文、どういう意味？

博奕好 日  
字 貝 小 衛 門 川 衛 門  
佐 々 木 小 衛 門 又 衛 門 林  
并 ○ ○ ○ 之 不 ○ ○ ○ 趣



字 貝 ○ ○ ○ 衛 門 ○ ○ ○ 川 ○ ○ 衛 門  
佐 々 木 小 ○ 衛 門 ○ ○ ○ 又 ○ 衛 門 林  
并 ○ ○ ○ 之 不 ○ ○ ○ 趣

博奕好 ○ 同

院 川 常 子 法 人 右 衛 門 近 衛 門  
常 子 法 人 右 衛 門 近 衛 門  
常 子 法 人 右 衛 門 近 衛 門

蜷 川 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 甚 五 右 衛 門 ○ ○ ○ 多 ○  
惣 兵 衛 与 力 奥 山 ○ ○ ○ ○ ○ 右 之 ○ ○ ○ 博 奕  
相 ○ 候 ○ ○ ○

同 〇月  
 日 九月  
 博奕之儀 〇〇〇〇右之〇〇之  
 〇〇衛門 〇〇伝 〇衛門組川 〇

同 〇月  
 博奕之儀 〇〇〇〇右之〇〇之  
 〇〇衛門 〇〇伝 〇衛門組川 〇

外二〇〇幸〇〇〇〇〇〇〇〇衛門組 〇〇  
 林蔵 〇〇

同 九月  
 〇〇〇頭之儀 先規 〇〇人  
 〇〇〇頭之儀 二  
 安見 〇碩 〇〇〇〇之儀 二

同 十月  
 〇〇〇頭之儀 先規 〇〇人  
 〇〇〇頭之儀 二  
 安見 〇碩 〇〇〇〇之儀 二

〇〇〇候而 〇〇方二も可 〇〇哉二付  
 〇〇〇





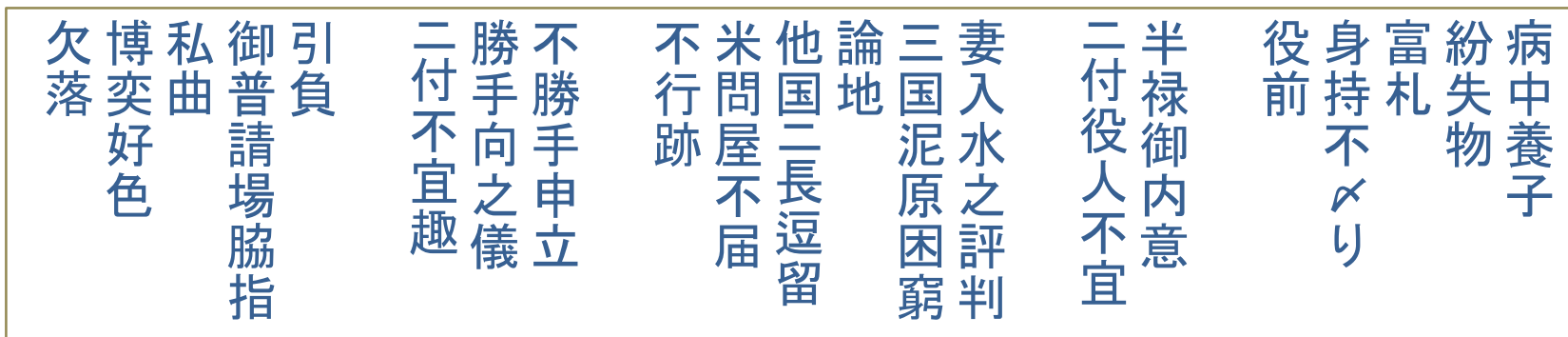


## ■役に立つ頭注

本文の上欄に書き入れた注。かしらがき。

藩役人が利用上、便利なので見出しを記したものの。

くずし字を読むためにも、内容を理解するためにも、重要なヒント

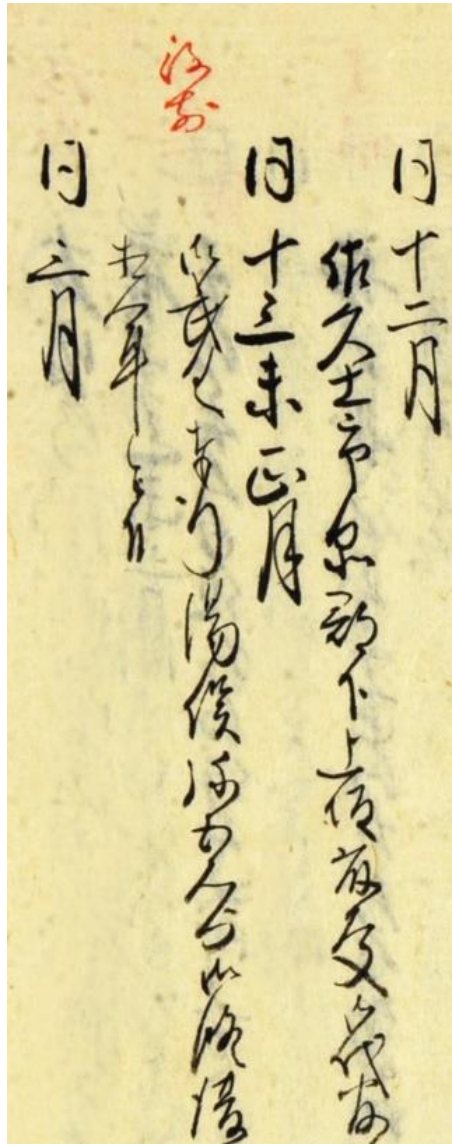


## ■くずし字の辞書として使える「史的文字データベース」の。

<https://mojiportal.nabunken.go.jp/>

複数機関が所蔵する史的文字200万件もの高精細な文字画像を検索可能





同 ( )

佐久士○○○郡下上坂○○○御○○○

同 ( )

○○御武○○○候○○○衛門御○○○

○○候二付

同 ( )



○下湯○○村同役○之儀二付

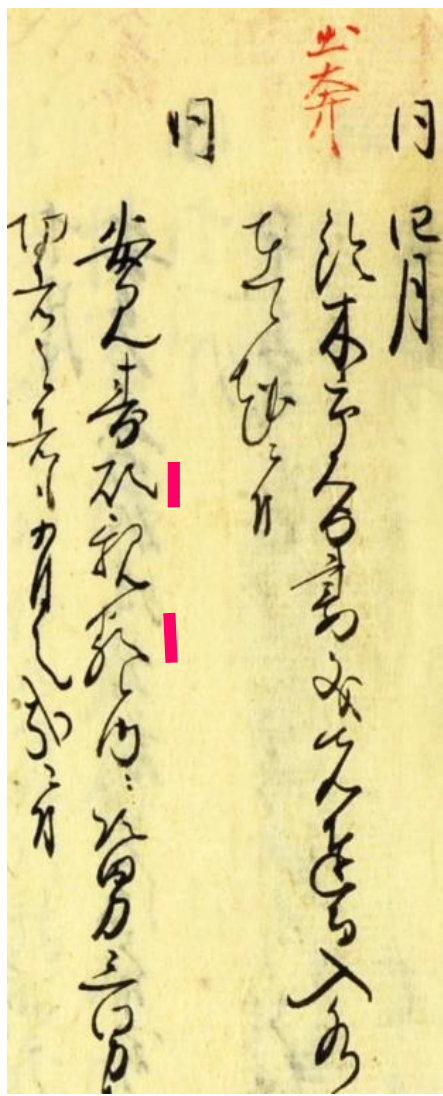
料 御○○○扱之儀 ○○○

### 役前

自分の担当する役目。

『日本国語大辞典』





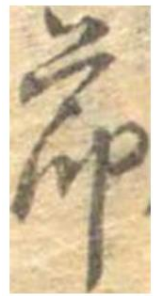
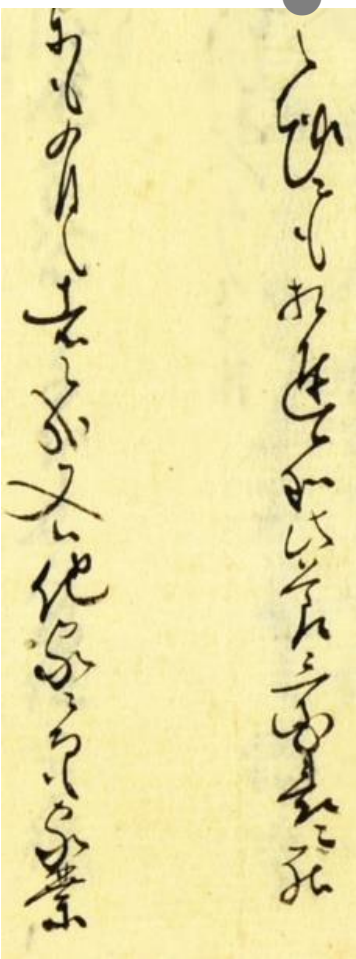
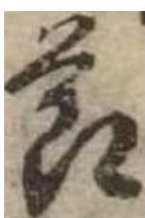
同 四月

〇〇 ( ) 〇〇 先 ( )

在〇〇二付

同

( ) ( 親類之内二 ) ( )  
 功〇之者も ( ) ( 二付 )



〇〇二も ( ) 此節 〇〇表二〇

等も〇〇〇〇〇哉 又ハ〇〇二而も〇〇





跡 跡 跡

武 武

志 志

お 相 お

月 日 日 月

公 書 書

よみかへんこへんこへんこへん

望所方候有与方布衣の爲  
身りに候有与方布衣の爲  
有と候有と候

跡

日 日  
七日  
許申丸平在古山候有与方  
有と候有と候有と候有と候  
有と候有と候有と候有と候  
有と候有と候有と候有と候  
有と候有と候有と候有と候

座

覆

→ 対義語



来週のために、予習してみてください。

宝暦十一年九月

日十月 山形より所より入るに掛りて候

日十月

右に少敷り候も之を十日後迄は之を止む事候

日十月

細井より入候事候に好都合候事候

日十月

日十月

杉本より入候事候に好都合候事候

日十月

中平より入候事候に好都合候事候

宝暦十一年

下女より 是より入候事候に好都合候事候

山形より入候事候に好都合候事候

日十月

宝暦十一年

山形より入候事候に好都合候事候

日十月

山形より入候事候に好都合候事候

日十月

山形より入候事候に好都合候事候

日十月

山形より入候事候に好都合候事候

日十月

山形より入候事候に好都合候事候

日十月

山形より入候事候に好都合候事候

## おわりにー読解上達のためにー

特徴的なくずし字、自分の“苦手”を覚えていく。

分からない文字は、こだわらず意味を推測して先へ。  
参考文献やその他の資料で検証も大切。

翻刻文を読む(確実に読解力が上がります)。

どうしても読みたいものを見つけて読む。  
(これも確実に読解力が上がります)。

読解が上達したら、「みんなで翻刻」やりませんか？





# みんなて翻刻

MINNA DE HONKOKU

